



No.1094  
 発行年  
 2023年  
 3月23日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 清野 聡  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 職場の労働条件改善と 組織強化・拡大へ

## 第129回 拡大地方委員会

●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しい。

●直江津地域分会の委員が退職したため私が委員になった。職協も兼ねている。

●直江津地域分会では組合員が5名。今年中に3名が退職する。直江津地域分会としては厳しい状況だ。分会大会で体制を整えた。

●2月27日に旗開きを開催、OBを含めて17名が参加した。3年ぶりの開催となり、いろんな話が出た。

●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しいと激励された。

●国労の組織再編についてももう少し詳しく説明して欲しい。

●新潟駅統括センターが発足した。エルダー輸送となったが他の職場へは行かない。営業もしない。今まで通りだ。

●若手社員は転勤が発生し、仕事内容が不安だと話している。勤務担当者は勤務表の作成が大変だと話している。

●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しい。

●直江津地域分会の委員が退職したため私が委員になった。職協も兼ねている。

●直江津地域分会では組合員が5名。今年中に3名が退職する。直江津地域分会としては厳しい状況だ。分会大会で体制を整えた。

●2月27日に旗開きを開催、OBを含めて17名が参加した。3年ぶりの開催となり、いろんな話が出た。

●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しい。

●直江津地域分会の委員が退職したため私が委員になった。職協も兼ねている。

●直江津地域分会では組合員が5名。今年中に3名が退職する。直江津地域分会としては厳しい状況だ。分会大会で体制を整えた。

●2月27日に旗開きを開催、OBを含めて17名が参加した。3年ぶりの開催となり、いろんな話が出た。

●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しい。

●直江津地域分会の委員が退職したため私が委員になった。職協も兼ねている。

●直江津地域分会では組合員が5名。今年中に3名が退職する。直江津地域分会としては厳しい状況だ。分会大会で体制を整えた。

●2月27日に旗開きを開催、OBを含めて17名が参加した。3年ぶりの開催となり、いろんな話が出た。

●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しい。

●直江津地域分会の委員が退職したため私が委員になった。職協も兼ねている。

●直江津地域分会では組合員が5名。今年中に3名が退職する。直江津地域分会としては厳しい状況だ。分会大会で体制を整えた。

●2月27日に旗開きを開催、OBを含めて17名が参加した。3年ぶりの開催となり、いろんな話が出た。

第129回拡大地方委員会が3月11日に地本会議室で13時より開催しました。

コロナ禍の中、組合員みなさんの御協力で通常開催することができました。

藤井副委員長の開会あいさつでスタートし議長に中越地域分会の近藤委員が選出されました。



第129回拡大地方委員会が開催された。

23春闘は4・8%1万3千円の要求で回答指定日が3月15日となっている。要求額獲得へ取り組みを職場から進めていこう。

JR東日本の会社組織の再編され、国労も東北本部・首都圏本部として発足し新潟地本は首都圏本部に入る。

中越事務所の問題については4月以降に処理していく。などあいさつしました。



**分会代表者会議&  
組織強化・拡大対策会議**

○日時 4月8日(土)  
13時~

○場所 地本会議室



●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しい。

●直江津地域分会の委員が退職したため私が委員になった。職協も兼ねている。

●直江津地域分会では組合員が5名。今年中に3名が退職する。直江津地域分会としては厳しい状況だ。分会大会で体制を整えた。

●2月27日に旗開きを開催、OBを含めて17名が参加した。3年ぶりの開催となり、いろんな話が出た。

●現場長へ2023春闘の要求を申し入れた。現場長は要求書を受け取った。上申を要請した。

●国労の旗を守って欲しい。

●直江津地域分会の委員が退職したため私が委員になった。職協も兼ねている。

●直江津地域分会では組合員が5名。今年中に3名が退職する。直江津地域分会としては厳しい状況だ。分会大会で体制を整えた。

●2月27日に旗開きを開催、OBを含めて17名が参加した。3年ぶりの開催となり、いろんな話が出た。





最賃についての計算式・国の計算式と会社の計算式と違うのか？

### コロナ禍で仕事が無くなる

●コロナ感染拡大で半導体が少なくなり仕事が無くなった。8月頃、仕事が無くなり何をするか自分たちで決めると会社から指示があった。



ステージが錯で劣化しているのをそれを改善、1週間かかった。仕事内容が楽になったが状況について元に戻った。そして、社員の年休消化のため忙しくなり残業が発生した。残業をやらぬように指示された。一生懸命やったら残業が発生しなかったが、残業しないと仕事がきつ

くなるのではないか。会社は残業するなど指示したり、残業すると指示したりどうなっているのか。

●ジョブローテーションなど乗務員から駅へ配置、現場で見習いするが混乱している。教育を受けてから現場配置へ。

### 乗務できる社員がいない

●4月1日から警越西線が開通する。新潟運輸区が担当するが4月1日から若松へ乗務できる社員が少くない。見習いができないか。呼び戻し教育はビデオ動画を見るだけだ。動画で教育が可能なのか、できるのか。線見は必要ではないのか？

### 現場は不安になっている

●長岡車両センター廃止にともない具体的なものが明確になっていない。現場は不安になっている。検修作業について、どう保守していくのか。訓練センターは教育がなくなる。NTSは安全教育を2年に1回実施していたがやらなくていいのか。



委員の方々から、職場の問題、特にJR東日本の組織再編で統括セン

ターが発足したところから、職場は混乱し、若年退職が出ている等の問題について話されました。



○次号につづきます。次号は渡辺副委員長のあいさつを記載します。渡辺副委員長は3年ぶりに新潟地本の委員会に出席しました。新潟に対しての思いがいっぱいあって、あいさつは20分くらいでした。



# ちょっさいっぷく

季節は冬から春へ・・・久しぶりに津南へ行ってきました。4カ月ぶりです。3月14日、素晴らしい天気恵まれて津南は青空が広がり良かったです。

### 今年の津南は2mくらい

津南の今年の冬は、どうだったですか？と聞いてみました。地元の方々は、今年は積雪は2mくらいで屋根の雪下ろしは2回だったそうです。先シーズンは4m以上の積雪だったので大変だったけど、今年は良かった・・・と話していました。ひとと晩で60センチ降っても降雪が続かなかつたし天候も回復し良かったそうです。



いつも寄る「ママさんおやつ」のママさんは元気でした。ここで何



曲か歌って、地元の方々といろいろ話げできました。

そして「蔵カフェ」も行きました。久しぶりだったので胸がいっぱいになって・・・ スタッフのみなさんも元気でした。スタッフのひとり、今月いっぱい辞めることになった・・・十日町の職場へ勤めることになったと・・・淋しくなるね・・・と。

宿は「しなの荘」に泊まりました。いつも泊まっている宿です。温泉が最高です。そして料理も地元の食材を使った献立で美味しかったです。雪下になじん・うまかった！雪下になじんの販売は今月25日まで。甘くてみずみずしく最高でした。また、来月も行きたいですね。